

自然ふれあいウォーク 秦野羽根から菩提を歩いてきました。

平成28年4月 21日(木) 9:30~16:00 曇り

秦野市を流れる葛葉川上流、羽根、菩提地区の丹沢山麓の春の山野草を観察しながら歩きました。又、伊勢原市との違いも探してみました。



昨年もおじゃましました和さびや茶園さんの裏山斜面に咲く満開のクマガイソウ(ラン科)

1、たくさんのスミレの仲間を観察しました。

タチツボスミレ・ツボスミレ・マルバースミレ・アオイスミレ・ノジスミレ・エイザンスミレ・ナガバノスミレサイシン・アカネスミレ・ビオラソロリア



ノジスミレ



エイザンスミレ



ナガバノスミレサイシン



アカネスミレ

2、コース上で見かけた草花で伊勢原市内では少なくなってきた植物達。

ウマノアシガタ ・イカリソウ ・セリバヒエンソウ ・アマナ(咲き終わり)

3、例年ならヤドリギの実はキレンジャクやヒレンジャクに食べられてしまっているが、今年は飛来していないのか黄色の実がたくさん残っていた。



4、ウラシマソウの雌株は受粉して秋に種を落とすと役目を終わらせ、翌春には雄株に戻ると言われている。



こぼれ話

和さびや茶園さんの裏山の浸み出し水を利用したワサビ田で栽培しているワサビの根茎をカワニナが食害してしまうので一つひとつ捕まえて、近くのホテルの棲む川に放しているそうです。(バケツ一杯にカワニナが入っていました。)

参加者の声

- ・初参加しましたが、大変楽しい一日でした。(女性)
- ・草花の事をもっと色々知りたいと思いました。(男性)

参加人数

19名 (12名 + GI :5名 + 実習生 2名)